

■「仙台市遊びの環境の充実に向けた取組方針」について

本市においては、こどもたちを取り巻く社会環境の変化を踏まえ、こどもの育ちの原点である「遊びの環境の充実」を「すこやか子育てプラン2020」（計画期間：令和2～6年度）の基本施策に位置づけ、様々な取組を進めてきたところであり、今般新たに策定した「せんだいこども若者プラン2025」（計画期間：令和7～11年度）においても、引き続き「遊びの環境の充実」を基本施策として位置づけている。

加えて、これまでの調査・研究、実証実験等の結果や遊びや体験の重要性も踏まえ、遊びの環境の充実に向けて更なる取組を進めるため、本市の取組の方向性を「仙台市遊びの環境の充実に向けた取組方針」として、令和7年3月にとりまとめている。

取組の基本理念

都市個性をいかした、こどもの育ちと子育てを支える遊びの環境の充実

自主性や創造性を育むなど、こどもの育ちにおける遊びの重要性に加え、親子の楽しい交流の創出など、子育てを支える上での遊びの意義も踏まえ、自然と都市機能が調和する本市の都市個性を最大限にいかしながら、こどもが様々な遊びに触れることができる環境づくりを進める。

基本的な視点

身近な場所での遊びの充実

公園や児童館など、こどもにとって身近な場所については、利用頻度の高い遊び場として重要である。こどもの身近な場所での遊びの機会創出は、こどもの居場所づくりにも資する取組である。

こどもが安全・安心に遊ぶことができるコミュニティを目指した地域連携の取組や、市民団体等が実施するプレーパーク活動の普及や展開など、こどもにとって身近な遊び場である学校・児童館・公園等における遊びの環境の充実を推進する。

多様な主体との連携や都市資源を活用した遊びの充実

本市は山・川・海などの豊かな自然を有しているほか、のびすくを始めとした子育て支援拠点や児童館、社会教育施設、民間事業者といった多様な主体が、こどもの遊びや体験の機会を提供しているなど、様々な都市資源を有している。

自然を活用したプレーパークの普及啓発や活動団体の支援、庁内外の様々な取組の情報発信の強化など、多様な主体との連携や都市資源の活用を図ることで、遊びの環境の充実を推進する。

都市の魅力を向上させる遊び空間の充実

自然を活用した遊びの充実や、大型の屋内遊び場の整備など、子育て家庭の多様なニーズを踏まえた取組を進め、こどもの育ちと子育てを支えることで、遊びの環境の充実を通じた「子育てが楽しいまち・仙台」の実現に向けた取組を進めていく。

主な取組

プレーパーク活動の推進

自然を活用した遊びの充実

既存の施設での遊びの充実

こどもが楽しめる公園づくり

情報発信の強化

屋内遊び場の整備

■ 屋内遊び場の整備について

① 施設の目指す姿

- 仙台市の魅力である豊かな自然を活用した遊びなど、屋外の遊びと連続性をもった遊びが可能となる施設を目指す。
- こどもの育ちの観点から、遊びを通じて多様な体験の創出や学びにつながる施設を目指す。
- 本市の遊び場を象徴し、市全域からの利用を見込む施設を目指す。
- 社会全体でこども・子育てを応援する気運を醸成するために、子育て家庭に限らず、多様な人が訪れる機会の創出につながる施設を目指す。
- 公共交通機関によるアクセスの利便性が高いことに加え、車で移動する子育て家庭も多いと見込まれることから、一定規模の駐車場を備えた施設を目指す。
- 施設の整備にあたっては、市民の様々な声を参考にしながら、多くのこどもたちが楽しめる施設を目指す。

② 整備候補地の選定

「① 施設の目指す姿」を踏まえ、以下の要件を満たす場所として、西公園南側区域の多目的広場が候補地として最も適すると判断した。

- 大型の屋内遊び場が設置可能な広さがあること
- 市全域からの利用が見込まれ、地下鉄の駅に近いなど公共交通の利便性が高い必要があるため市中心部にあること
- 自然を活用した屋外の遊びと連続性をもった施設にできること

③ 整備候補地の特性

- 西公園における位置づけ
自然と都市の共生や、にぎわいづくりといった点で西公園再整備基本構想の方向性とも合致する。
- 外遊びの連続性
北側に隣接するエリアにおいては、こどもの遊び場エリアとしてインクルーシブ遊具等の整備を予定している。
- 遊び場としての親和性
候補地の北側には地下鉄東西線プロムナードが整備されており、屋根付きの屋外空間として利用が可能であるほか、間近を走る地下鉄を見ることができる。

■ 屋内遊び場の整備について

④ 施設の位置づけ

- 児童福祉法との関係においては、児童厚生施設（法第40条）に位置付けることを検討している。
- （参考）都市公園法との関係においては、教養施設（法第2条第2項第6号）のうち、体験学習施設（施行令第5条第5項第1号）に位置付けることを想定。

⑤ 今後の進め方

- 令和7年度は、整備に向けた基本計画を策定し、令和8年度以降に設計・工事を行うことを目指す。
- 庁内で関係部局が連携し検討を進めるほか、専門的な知見を有する有識者、こどもや子育て家庭の皆様、子育て支援に関わる団体の方などからのご意見を伺いながら、検討を進めていく。
- 日々成長するこどものための施設であることを踏まえ、可能な限り早期の供用開始を目指していく。

西公園屋内遊び場関連 今後の主な取組イメージ

